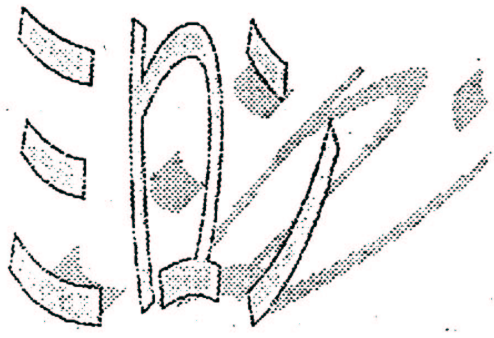


1997. 5. 1 No. 64



Bangladesh とも
手もつなく会

私達、「Bangladeshと手もつなく会」は、Bangladeshのカラムディ村に現地の村人による委員会(Shondani Yonsta)と協力して次の活動を行なっています。

- 教育分野** 小学校建設、奨学金制度、職業訓練(タイプ、ミシン)、夜学級、識字学級など
- 医療分野** 母子保健センターの建設と運営、定期的な現地での診療活動、健康および環境調査、医療従事者の研修と村人の衛生教育など

世界中みんなともだち

みなさんありがとう 元気で帰って来ました

長い間福岡をはなれてみなさんにごめいわくご心配をおかけしましたが無事に元気で帰って来ました。アメリカでつくづく思ったのは神の前にみんな平等、みんな友だちという感覚です。四月二〇日の「手もつなく会総会」はほんとうにいい集まりでした。今までの中で一番親しく友だちのように話し合えたと思います。アメリカ、Bangladesh、日本。経済も国民性もずいぶん違います。それぞれにすばらしいものを持っています。世界中がわかり合い、友だちになれたら！

七月に村に行ったらもともつとたくさんの人たち、子どもたちと仲よしになつて来ようと思います。みなさんほんとにありがとう！



1997年活動方針

10周年を迎えて、これまでを振り返り、これからの10年間で展望しましょう

「バングラデシュと手をつなく会」の前身「バングラデシュに小学校をつくる会」ができたのが1987年、こしは10周年になります。たくさんの方々のご協力で「手をつなく会」がここまで前進できたことを心から感謝しています。でも、思いの足りなかつたこと、考えたのにできなかつたこともたくさんありました。この10周年をふりかえって、まとめと反省をする年にしたいと思います。

現地とのつながり

過去7回の現地訪問やスタディツアー、現地スタッフ招聘と、毎年交流を続け、おたがいの親しさ、心のふれあいは深くなっています。でも医療と教育の具体的な現地の要望については、納得と合意ができていくとは言えません。97年度は現地訪問をはじめ、あらゆる機会に納得いくまでの話し合い、手紙のやりとりを続けたいと思います。歴史や国民性のちがいを超えて、お互いが心から話し合い、納得できるように、それが97年度の一番大切なことだと思います。

国内でのこと

たくさんの方々のご協力とお支えによって「手をつなく会」はここまで来ることができました。97年度はもっと輪を広げてたくさんの方に活動を知って頂きたいと思います。読みやすい「ミロン」、広い地域での報告会、(カレー料理やサリー・ショー)、バングラデシュと日本の子供たちの絵の交流、ビデオの広い活用、留学生との交流会など国内の輪を広げたいと思っています。NGOやいのちのネットワークの交流も今まで以上に続けたいと思います。

10周年記念事業について

10周年を節目として、これまでを振り返り、これからの10年間の見通し・目標を立てようと思います。それらをまとめて、運営委員会を中心に記念誌作りを含めて進めていきます。

1997年度主な活動計画

- 4月 バングラデシュと手をつなく会 総会
- 5月 ADBにNGOとして参加
- 7月～8月 現地訪問
- 9月～ 現地訪問報告会
- 10月 現地スタッフを招いて研修
10周年記念事業
- 11月 バザー
- 12月 スタディツアー
- 1月 スタディツアー報告会
- 3月 バザー



その他に、NGO福岡ネットワークへの参加・協力、「夢見ることも基金」との協力による支援活動、ロータリークラブとの連携の継続、などを行なう予定です。

会員の皆さん、協力者の皆さん、今年もどうぞご協力をお願いします。

※ 1996年度の総会が開かれました。 ※

4月20日、アクロスの国際広場において午後2時から5時まで、以下のように執り行なわれました。

- 議題
- ・大木代表のあいさつ
 - ・1996年度活動報告
 - ・1996年度決算報告
 - ・新年度運営委員の選出
 - ・10周年にあたって
 - ・1997年活動計画
 - ・1997年度予算
 - ・今後についての話し合い



1996年度の活動は、大木代表の渡米による不在のなか、留守を預かる会員同士でより協力的に補充し合いながら、活発な意見交換のもとで活動してきました。また事務所移転に伴い、事務及び作業効率が向上したこと、ミロンの発行を隔月とし、カレンダーの制作及びチャリティーコンサートを取り止め、経費節約と事務的作業の見直しを図りました。という活動の特徴による年間の実施報告がなされました。

また会創立10年を迎える当会が、社会的にも信頼を得るようになり、その評価に答えるためにも、また会の充実と成長、延いては Bangladesh の将来により貢献できる事を目標として、1997年度から98年度にかけて、会の大きな節目ということ意識した記念事業を加えようとの計画（具
体内容：記念誌の制作、10年評価及び指針委員会の設置、シヨンダニと今後10年についての協議）が、承認されました。

このほか、資金の確保や広報活動をどのようにしていったらよいか、など、出席者のなかから活発な提案も発表されたのち、議題の全てが承認されました。

最後は、出席者の一人ずつが自己紹介をし、和気あいあいの雰囲気ですべての1996年度総会の幕を閉じました。

♪ 1997年度新運営委員紹介 ♪

- | | | | |
|---------|--------------|---------|---------|
| ・今給黎 靖子 | ・今村 和彦 | ・岩切 篤子 | ・宇治 松枝 |
| ・大木 松子 | ・小野 美代子 | ・台 麻理子 | ・高尾 礼子 |
| ・高橋 かつり | ・外池 博子 | ・友納 つる子 | ・二ノ坂 保喜 |
| ・野口 幸子 | ・ラフマン モクレスール | ・森 昌子 | |

「バングラデシュの子どもと仲よくなりたい」

「夢みる子ども基金」が援助

4月6日午後、福岡市のアクロスで第3回のこども会議がひらかれました。全国から集まった20教人の子どもたちが理事アグネス・チャンさんの司会で夢を語り合いました。そのあつわたくしがバングラデシュの子どもたちの様子を話し、満場一致でバングラデシュの子どもたちのために基金をあげようとなりました。7月21日にカラムテ中学1年生の男女ひとりずつとつきせいの先生が来て福岡で全国の子どもたちと交流します。

第1回と第2回は阿蘇でひらかれ筋ジストロフィー少年バンドのコンサートがあり、ことしら筋ジストバンドが出演します。

なお、集まった子どもたちは作文と絵で入選したメンバーでしたから夏の理地訪問のときに持って行く絵をたのみました。(大木松子)

「夢みる子ども基金」というのは、歯科医師会がいらぬ金庫や銀貨で基金をつくらせて子どもたちのために活動しているグループ事務局は読売新聞社



アジア共生シンポジウムで報告

四月十三日午後福岡市の「アマカス」でアジア共生シンポジウムがありました。これはADB(アジア開発銀行)世界総会が五月に福岡でひらかれるのに先立って協賛事業として五回にわたって催されたうちの二回目です。開発と女性」がテーマで「NGO市民グループによる活動報告」がありました。バングラデシュと手をつなぐ会「アジアに生きる会」がホリ国際里親の会「ABCキルトの会」が報告。わたしはスライドを使って村の女性たちの様子や交流のことを話しました。そのあと講演松井やよりさん、彼女は朝日新聞記者でしたがずっとアジアにかかめてフリージャーナリストとして活躍しています。開発途上国の人たちの苦しみ、開発による自然ハカイなど考えさせられるお話でした。

なお、五月二、三、四日のADB総会にはわたしと外池さんが出席します。

(大木松子)



一緒に、バングラデシュで汗を流しませんか？
バングラデシュ・カラムディ村
現地訪問団募集中

バングラデシュと手をつなぐ会では、今年の夏、恒例の現地訪問を実施します。現在現地訪問に参加する仲間を募集しています。

参加資格は特に問いません。何か役に立ちたい、という意欲と、健康な心と体をお持ちの方なら、どなたでも参加できます。

日程 1997年7月19日(土)～8月4日

7月19日(土) 福岡～ダッカ

7月20日(日) ダッカ～カラムディ村へ

7月21日(月)～8月1日(金) カラムディ村での活動

8月1日(金) カラムディ村～ダッカへ

8月4日(月) 帰国

費用 約15万円

現地での仕事

医療班は、母子保健センターでの診療、巡回検診、健康及び環境調査など。

教育班は村の小中学校を訪問し、生徒たちとの交流、懇談、先生方との話し合い、父兄との懇談など。

その他に、全員で村のNGO「ションダニ・ションスタ」との話し合いを行ったり、村人との交流を行ないます。

旅費はボランティアで賄う。お持ちください。

申込・お問い合わせは、**5月10日までに(お急ぎ下さい!)**

バングラデシュと手をつなぐ会 844-1369

または、うづまん 632-3382

二ノ坂 872-1136 まで。

1996年度会計報告と1997年度予算

収 入 の 部		支 出 の 部							
項 目	'96年度予算	'96年度決算	'97年度予算	備 考	項 目	'96年度予算	'96年度決算	'97年度予算	備 考
会 員 会 費	528,000	86名 550,000	600,000		建 築 費	3,200,000	0	0	
協 力 会 員 会 費	900,000	70名 859,000	900,000		教 育 部 経 費	1,300,000	1,200,000	1,400,000	
募 金	3,000,000	141名 1,487,026	2,800,000		医 療 部 経 費	1,350,000	1,389,800	1,600,000	
旅 費 カ ン パ	600,000	108名 962,500	900,000		現 地 訪 問 旅 費	600,000	589,348	900,000	
バ ヶ - 収 益 金	150,000	208,370	200,000		報 告 書 製 作 費	100,000	154,912	180,000	
礼 金 カ ー ド 販 売	32,000	27,200			会 場 費	500,000	351,545	事務所 500,000 費	家賃40万, 保険2万 電気、水道、他
報 告 書 販 売	100,000	21,400			通 信 費	500,000	562,142	600,000	
物 品 販 売	50,000	474,105	500,000	物品販売費	事 務 費	130,000	108,017	100,000	
カ レ ン ダ - 販 売	0	1,000			集 会 費	25,000	35,150	30,000	
絵 ハ ガ キ 販 売	32,000	7,200			広 報 費	100,000	102,108	100,000	
招 へ い 費	170,000	308,404	250,000	招へい費助成金	交 通 費	10,000	1,400	10,000	
雑 収 入	2,336,099	116,946	175,583		備 品 費	0	25,513	200,000	電話加入権、浄水 器、FAX電話
					招 へ い 費	350,000	416,239	500,000	
					電 話 料 金	50,000	73,428	50,000	
					予 備 費	3,321,000	引越し 214,489 物品仕入 42,000 消耗品 6,554	100,000 50,000 5,000 3,397,000	10周年事業費 物品仕入れ費 雑費 予備費
収 入 合 計	7,898,099	5,021,151	6,325,583		支 出 合 計	11,536,000	5,262,645	9,722,000	
前 年 度 繰 越	3,637,901	3,637,901	3,396,407		次 回 繰 越 金	-	3,396,407	-	
合 計	11,536,000	8,659,052	9,722,000		合 計	11,536,000	8,659,052	9,722,000	

会 員 113名 + 15名 = 128名
協 力 会 員 88名 + 19名 = 107名

☆ バングラデシュのお話しをしました☆

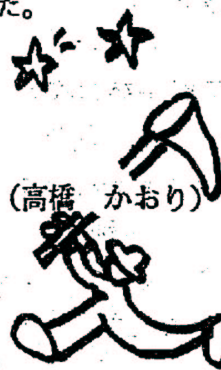
福岡市立青年センターで、20～30歳の青年を対象に、4月19日にバングラデシュの話をしました。昨年の現地訪問のビデオとスライドをつかって、村の様子や医療班・教育班の活動報告を伝え、現在の問題点について話しました。その後、NGOの問題点やこれからの課題、そしてODA（途上国の開発援助）の問題についても話し合いました。ボランティアが市民1人1人に根付いていないことが問題だ、行政とNGOの関係が確立できていないことが問題だ、日本のODAは実績が一人歩きしていて内容に問題があるなどたくさんの意見がとびかいました。



その中で、生活に余裕があって時間があるからボランティアをしてみようかという安易な考えの若者が多く、本当の目標を見失っているのではないかという意見がありました。ボランティアなのに、どうしてこんなにきつい思いをしなければならないの？ボランティアなのに、どうして少し時間に遅れたからといって叱られなければならないの？などと考え、途中でやめてしまう若者がいるそうです。なんのために、ボランティアをするのでしょうか。ボランティアとはなんでしょうか。

カラムディ村の青年達は集まって、村のために役立てたいと、少しずつお金を出し合っ
て計画をしているという話をした時に、みんなで考え込んでしまいました。

みなさんは、ボランティアについて、どのように考えますか？ ☆



(高橋 かおり)

バザーを行いました!!

3月30日、みなさんの協力のもとで恒例のバザーを、西新商店街で行うことができました。バングラデシュの留学生2人も手伝ってくれました。また、二ノ坂先生の息子さん2人が大活躍で、楽しいバザーとなりました。

売り上げは前回よりも多く、12万2747円となりました。売りきれなかった品物はさざなみ作業所に寄付させていただきました。遠い所からわざわざ品物を持ってきていただいた方、たくさんの人に呼びかけてくださった方、本当にありがとうございました。

駅の周辺、区役所の入り口、バスや地下鉄の中にまで「アジア開発銀行（ADB）福岡総会」の開催を告げる文字が見えるけど「アジア開発銀行」って何だろう？

ほおっておけば、ただ通り過ぎるだけのもの

でも「アジア」とか言ってるし、なんか気になる。

ADB（アジア開発銀行）っちゃんね???

私とどう関係するのだろうか???

.....

アジア開発銀行は、アジア・太平洋地域に対して、経済・社会開発のための投・融資を行う多国間金融機関です。日本はアジア開発銀行の最大出資国であり、そのお金は私たちの税金、郵便貯金、銀行預金、厚生年金などからも流れています。

最近では、医療・衛生や教育などの社会開発に対して出資するなどの政策転換もありますが、ダム開発や発電所建設などの大規模な経済開発には、環境破壊や住民の強制移転などの問題も多く含まれています。

そこで、アジア・太平洋地域ののNGOが、アジア開発銀行の投・融資によって直接影響を受ける住民の代弁者として、アジア開発銀行に対して、さまざまな働きかけを行ってきました。もちろん、5月の福岡総会（5月11日～13）にもそうしたNGOが、フィリピン、インドネシア、マレーシア、パプア・ニューギニア、インド、ネパール、スリランカ、バングラデシュなどからやってきます。

私たち「アジア開発銀行総会福岡NGOフォーラム」は、そうしたアジア・太平洋地域のNGOの活動をサポートし、同時に、アジア開発銀行がいったい何であるのかを市民の立場から考えるために、さまざまな活動を行ってきました。

以下に紹介するのは、アジア開発銀行総会の前後に私たちが行う企画です。これらの企画に参加しながら、あなたも「ADBっちゃんね?」という問いかけをしてみませんか？

アジア開発銀行総会

福岡NGOフォーラム事務局

TEL&FAX092-641-1229

1. アジアを考える映画祭 5月3・4日（土・日）

6本の話作をいっしょに上映。映像を通して「成長のアジア」の現実を見ましょう。

5月3日（土）

- ・忘れられた子供たち～スカベンジャー～ 11:00～13:00
- ・特別上映（無料）：人間の住んでいる島 13:10～13:55
- ・GAMA～月桃の花～ 14:30～16:30

5月4日（日）

- ・絵の中のぼくの村 11:00～13:00
- ・特別上映（無料）：森をふたたび～あるアイヌ一族の歲月～ 13:10～13:55
- ・教えられなかった戦争～フィリピン編 14:30～16:30

会場：クローバープラザ（福岡県総合福祉センター）JR 春日駅から徒歩1分

入場料：一作品1,500円（前売り1,300円） 託児あり、車椅子用座席用意

2. 貝澤 耕一さん講演会～二風谷判決が意味するもの 5月5日（月）

アイヌ民族を先住民族として認めた地裁判決の意義は？二風谷ダムはどうなる？現地の声を！

時間：14:00～16:00 会場：アクロス福岡（地下鉄天神駅徒歩5分） 入場料：500円

3. 第1回博多湾ツアー 5月9日（金）

博多湾の開発の現状を見ながら、「公共」事業の仕組みについて学びましょう。博多湾の貴重な自然環境を再認識しましょう。参加ご希望の方はご事務局まで連絡下さい

時間：13:00～17:00 集合場所：ホテルシーホーク 参加費：無料 募集人数：25名

4. 環境と開発を考える市民フォーラム（全体会） 5月9日（金）

大規模開発は、本当に私たちのためになるのでしょうか？メコン河開発や博多湾開発を検証

時間：18:30～21:00 会場：あいれふ（地下鉄赤坂駅徒歩8分） 入場料：500円

5. 環境と開発を考える市民フォーラム（分科会） 5月10日（土）

女性、人権、先住民族、ODA等をテーマにして6つの分科会を開きます

時間：14:00～19:00 会場：あいれふ（地下鉄赤坂駅徒歩8分） 入場料：500円

6. ユースフォーラム（分科会） 5月11日（日）

「ボランティアっちゃんね？」知ってみたい人のために、若者が集まり、ゲーム、ディスカッション、ワークショップなどを通して、知って、考え、行動します。入場料無料

時間：10:00～12:00 会場：鳥飼八幡宮（地下鉄唐人町駅徒歩5分）

時間：13:00～17:00 会場：福大セミナーハウス（護国神社前バス停徒歩5分）

7. NGO祭り（分科会） 5月11日（日）

福岡内外のNGOが出店して、活動紹介や物品販売を行います。NGO活動を知るチャンスです。

時間：10:00～16:00 会場：鳥飼八幡宮（地下鉄唐人町駅徒歩5分） 参加費：無料

8. 第2回博多湾ツアー-5月13日（火）/ 水俣ツアー-5月15～16日（木～金）

現地を実際に訪れて開発が地域や人間に与える影響を考える旅です。詳しくは事務局まで

お知らせとお願いコーナー

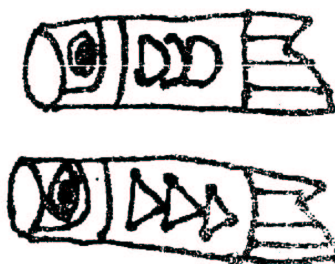
5月～6月の行事予定

(未定・変更される場合があります。ご確認ください。)

月 日	時刻・時間	内 容	場 所
5月11日(日)	11時～17時	NGOまつり	鳥飼八幡宮
5月15日(木)	午後7時～	運営委員会	西新事務所
5月17日(土)	14時～17時	NGO福岡ネットワーク 定例会	アクロス福岡
6月12日(木)	19時～	運営委員会	西新事務所
7月3、4日		ミロン発送作業	西新事務所
7月13日(日)	14時～	運営委員会	西新事務所

○ 4月20日の総会は、熱心な会員の方々、また新しい方などご参加いただきありがとうございました。手をつなぐ会が今年10周年を迎え、私達はこれまでどんなことをやってきたのか、これから何をしようとしているのか、カラムディ村の人々に対する、あるいは日本の社会に対する責任はどうあるべきか、などこれから考えるべき課題がたくさんあります。総会の場でも話題になりましたが、当会の運営委員会はオープンで、どなたでも自由に参加、発言できます。どうぞ、是非一度のぞいてみませんか？

○ 今年も現地訪問への動きが始まりました。参加希望者は早めにお申し込み下さい。また、会員の皆様のご協力で、現地訪問を盛り上げていきましょう。



バンガラデシュと手をつなぐ会

〒814 福岡市早良区西新5-4-20

TEL&FAX 092-822-5795

代 表 大木松子

郵便振込 01720-2-10442

加入者名 バンガラデシュと手をつなぐ会